

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第57期第1四半期（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
【会社名】	扶桑化学工業株式会社
【英訳名】	FUSO CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 赤澤 良太
【本店の所在の場所】	大阪市中央区高麗橋四丁目3番10号
【電話番号】	06-6203-4771（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 武川 隆彦
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区高麗橋四丁目3番10号
【電話番号】	06-6203-4771（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 武川 隆彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第56期 第1四半期 連結累計期間	第57期 第1四半期 連結累計期間	第56期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	6,818,897	7,020,680	27,355,263
経常利益(千円)	957,578	789,643	3,231,723
四半期(当期)純利益(千円)	543,234	405,327	1,903,668
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	305,624	789,385	2,875,955
純資産額(千円)	20,930,063	24,098,556	23,404,086
総資産額(千円)	33,651,951	34,172,554	33,783,793
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	86.21	64.32	302.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	62.08	70.41	69.15
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,112,901	843,766	4,266,589
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	125,514	126,669	322,023
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,095,473	826,844	3,637,296
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	3,890,808	4,586,393	4,606,035

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および連結子会社8社)が行っている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクの内容について、重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものです。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新政権の景気回復対策への期待から、円高是正や株価上昇が進み、緩やかな回復の傾向が見られました。一方、世界経済は、米国では緩やかな回復基調となったものの、欧州財政金融問題や為替相場の変動などを背景に、依然として見通しは不透明な状況のまま推移しています。

このような状況のもとで、当社グループは、国内外の拠点間のネットワークを活かした販売活動の強化や顧客のニーズに合わせた商品開発に努めましたが、原料の高騰や円安によるコストの増加をカバーするには至りませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は70億20百万円（前年同期比3.0%増、2億1百万円増）となりました。営業利益は7億63百万円（同23.5%減、2億33百万円減）、経常利益は7億89百万円（同17.5%減、1億67百万円減）、四半期純利益は、4億5百万円（同25.4%減、1億37百万円減）となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

（ライフサイエンス事業）

国内においては、昨年度に引き続き厳しい市場環境が続きましたが、拡販および価格改訂に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。また、海外の連結子会社においては、外部販売が堅調だったことに加え、円安の影響により、円換算後の売上高は大きく増加しました。一方、原料価格や輸入仕入価格の大幅な上昇のため、収益が圧迫されました。

これらの結果、ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が49億39百万円（前年同期比9.5%増、4億27百万円増）、営業利益は5億37百万円（同7.9%減、46百万円減）となりました。

（電子材料および機能性化学品事業）

当第1四半期連結累計期間において、超高純度コロイダルシリカの売上高は、半導体市況の低迷による取引先の在庫調整の影響を前年度下半期から引き続き受けた結果、前年同期比で減少しました。ナノパウダー等の新製品の販売が始まるなど、増加要因もありましたが、超高純度コロイダルシリカの減少をカバーするには至りませんでした。

これらの結果、電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が20億81百万円（前年同期比9.8%減、2億26百万円減）、営業利益は4億18百万円（同27.9%減、1億61百万円減）となりました。

（2）財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億88百万円増加し、341億72百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べ3億5百万円減少し、100億73百万円となりました。これは主に、借入金が返済に伴って減少したためです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ6億94百万円増加し、240億98百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加および円安による為替換算調整勘定の増加によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益および減価償却費の発生により取得した資金を長期借入金の返済に充てた結果、前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、45億86百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は8億43百万円(前年同期は11億12百万円の取得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の発生および仕入債務が増加したためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億26百万円(前年同期は1億25百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産を取得したためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は8億26百万円(前年同期は10億95百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済を行ったためです。

(4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費の総額は1億8百万円です。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,000,000
計	19,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,302,200	6,302,200	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	6,302,200	6,302,200	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減 額(千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	6,302,200	-	1,180,367	-	1,667,042

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,299,500	62,995	-
単元未満株式	普通株式 1,600	-	-
発行済株式総数	6,302,200	-	-
総株主の議決権	-	62,995	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
扶桑化学工業株式会社	大阪市中央区高麗橋 四丁目3番10号	1,100	-	1,100	0.02
計	-	1,100	-	1,100	0.02

(注) 当第1四半期会計期間末の自己株式数は1,154株です。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しています。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）および第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,606,035	4,586,393
受取手形及び売掛金	1 7,198,458	1 7,197,241
商品及び製品	5,459,379	5,928,762
仕掛品	250,110	251,794
原材料及び貯蔵品	1,115,043	1,043,221
繰延税金資産	432,125	430,198
その他	257,316	284,680
貸倒引当金	5,387	6,016
流動資産合計	19,313,081	19,716,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,532,823	6,490,009
機械装置及び運搬具(純額)	2,420,116	2,367,969
土地	3,052,785	3,060,823
建設仮勘定	150,739	305,936
その他(純額)	414,503	407,333
有形固定資産合計	12,570,968	12,632,072
無形固定資産	386,563	389,331
投資その他の資産		
投資有価証券	693,302	688,628
長期前払費用	180,656	116,707
繰延税金資産	341,956	331,752
その他	421,990	428,202
貸倒引当金	124,727	130,414
投資その他の資産合計	1,513,178	1,434,876
固定資産合計	14,470,711	14,456,279
資産合計	33,783,793	34,172,554

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,282,029	1,892,191
短期借入金	3,047,900	2,764,900
未払金	894,539	1,225,146
未払法人税等	776,586	406,289
賞与引当金	312,346	180,797
役員賞与引当金	40,000	10,000
その他	616,344	617,395
流動負債合計	6,969,746	7,096,720
固定負債		
長期借入金	1,974,150	1,525,050
繰延税金負債	119,335	125,226
退職給付引当金	1,157,283	1,173,900
資産除去債務	9,417	9,417
その他	149,772	143,681
固定負債合計	3,409,960	2,977,277
負債合計	10,379,707	10,073,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,367	1,180,367
資本剰余金	1,667,042	1,667,042
利益剰余金	19,908,385	20,219,197
自己株式	2,840	2,840
株主資本合計	22,752,954	23,063,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228,662	222,981
為替換算調整勘定	380,015	772,738
その他の包括利益累計額合計	608,678	995,720
少数株主持分	42,452	39,068
純資産合計	23,404,086	24,098,556
負債純資産合計	33,783,793	34,172,554

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,818,897	7,020,680
売上原価	4,092,618	4,516,052
売上総利益	2,726,279	2,504,628
販売費及び一般管理費	1,728,913	1,741,183
営業利益	997,366	763,444
営業外収益		
受取利息	4,018	2,224
受取配当金	7,751	7,847
受取手数料	2,722	3,675
為替差益	-	25,965
その他	6,334	6,558
営業外収益合計	20,827	46,270
営業外費用		
支払利息	33,310	18,929
為替差損	26,788	-
その他	515	1,142
営業外費用合計	60,614	20,071
経常利益	957,578	789,643
特別利益		
固定資産売却益	139	417
特別利益合計	139	417
特別損失		
固定資産除却損	2,612	611
課徴金	53,296	-
特別損失合計	55,908	611
税金等調整前四半期純利益	901,809	789,449
法人税、住民税及び事業税	372,794	373,275
法人税等調整額	11,889	13,829
法人税等合計	360,905	387,105
少数株主損益調整前四半期純利益	540,903	402,344
少数株主損失()	2,331	2,983
四半期純利益	543,234	405,327

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	540,903	402,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,135	5,681
為替換算調整勘定	222,143	392,722
その他の包括利益合計	235,278	387,041
四半期包括利益	305,624	789,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,956	792,369
少数株主に係る四半期包括利益	2,331	2,983

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	901,809	789,449
減価償却費	390,194	378,326
のれん償却額	7,766	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	19	442
賞与引当金の増減額(は減少)	101,924	132,738
役員賞与引当金の増減額(は減少)	30,000	30,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,911	22,146
受取利息及び受取配当金	11,770	10,071
支払利息	33,310	18,929
為替差損益(は益)	8,646	19,820
固定資産売却損益(は益)	139	417
固定資産除却損	2,612	611
売上債権の増減額(は増加)	274,549	70,697
たな卸資産の増減額(は増加)	89,261	272,221
仕入債務の増減額(は減少)	179,210	588,454
未払金の増減額(は減少)	212,478	228,076
長期未払金の増減額(は減少)	-	2,700
その他	56,703	2,745
小計	1,287,017	1,626,420
利息及び配当金の受取額	11,743	9,736
利息の支払額	31,748	19,290
法人税等の支払額	154,110	773,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,112,901	843,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	101,358	101,003
有形固定資産の売却による収入	139	417
無形固定資産の取得による支出	7,434	15,538
投資有価証券の取得による支出	924	1,003
長期貸付金の回収による収入	100	90
その他	16,036	9,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	125,514	126,669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	1,000,750	732,100
配当金の支払額	91,675	92,096
少数株主への配当金の支払額	400	-
リース債務の返済による支出	2,647	2,647
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,095,473	826,844
現金及び現金同等物に係る換算差額	58,395	90,106
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	166,481	19,641
現金及び現金同等物の期首残高	4,057,290	4,606,035
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,890,808	4,586,393

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間において、重要な変更はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。なお、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれています。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	214,065千円	179,353千円
支払手形	1,167	1,312

(四半期連結損益計算書関係)

1 課徴金

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

中国において法令に関する認識の相違により課せられたものです。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金勘定	3,955,154千円	4,586,393千円
預入期間が3か月を超える定期預金	64,345	-
現金及び現金同等物	3,890,808	4,586,393

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	94,516	15	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	94,515	15	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,511,340	2,307,557	6,818,897	-	6,818,897
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	1,607	1,607	1,607	-
計	4,511,340	2,309,164	6,820,505	1,607	6,818,897
セグメント利益	584,233	580,040	1,164,273	166,907	997,366

(注)1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用
 175,019千円、その他8,111千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,939,210	2,081,469	7,020,680	-	7,020,680
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-	-
計	4,939,210	2,081,469	7,020,680	-	7,020,680
セグメント利益	537,859	418,306	956,165	192,721	763,444

(注)1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用
 199,935千円、その他7,214千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	86円21銭	64円32銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	543,234	405,327
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	543,234	405,327
普通株式の期中平均株式数(株)	6,301,114	6,301,046

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

扶桑化学工業株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井上 正彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 上田 美穂 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている扶桑化学工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、扶桑化学工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。